

# 大和証券グループの 社会的責任と重要課題

## 大和証券グループ 企業理念 (1998年3月制定)

### 「信頼の構築」

お客様からの信頼こそが、大和証券グループの基盤である。お客様を第一に考える誠実さと高い専門能力により、最も魅力ある証券グループとなる。

### 「社会正義の貫徹」

大和証券グループに誇りと繁栄をもたらすものは、社会正義の貫徹と、内外のお客様、市場、社会からの信用である。高潔な職業倫理と公正な行動規範により、社会の発展に貢献する。

### 「人材の重視」

大和証券グループの競争力の源泉は人材である。社員一人ひとりの創造性を重視し、チャレンジ精神溢れる自由闊達な社風を育み、社員の能力、貢献を正しく評価する。

### 「健全な利益の確保」

健全なビジネス展開を通じて企業価値を高めることは、株主に対する責務である。大和証券グループはお客様に価値あるサービスを提供して適正な利益を獲得し、株主に報いる。

## 持続可能な社会と大和証券グループ

現代の社会は、温暖化に代表される人類の生存を脅かす地球規模の環境問題や、貧富の差の拡大、日本国内では少子高齢化など、持続可能性が危惧されるさまざまな問題を抱えています。これらは、公共機関や企業、市民などすべての主体が責任を持って行動していかなければ解決できない課題です。

企業が持続可能な社会の実現を左右するキープレイヤーとなるなか、金融機関は主要業務である金融の機能を通じた社会的使命を担っています。大和証券グループは公正で活力のある金融市場を維持・発展させていくことに加え、金融に社会

的な視点を組み込み、持続可能な社会の実現に向けた資金の流れを促していくことが私たちの役割であると考えます。

大和証券グループはこの考えのもと、「国連環境計画・金融イニシアティブ」(UNEP FI)\*1に加盟、「責任投資原則」(PRI)\*2、「カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト」(CDP)\*3に署名し、国際社会の一員として、その役割をはたしていきます。

### WEB版用語解説

\*1 国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)

\*2 責任投資原則(PRI)

\*3 カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト(CDP)

## 持続可能な社会実現のためのアプローチ

### ① 社会に必要とされる事業

証券会社の事業は、資金を調達する企業等の発行体と、資金を運用する投資家の橋渡しをすることにより、「貯蓄から投資へ」の流れを後押しする、公共性の高い事業です。

法令遵守はもとより、社会通念と調和した業務を日々遂行し、証券市場の健全な機能発展に尽くします。

### ② 社会・環境配慮型事業

「金融に社会的視点を組み込む」という、金融機関に求められるCSRの姿を具現化する事業を推進します。具体的にはSRI投資信託、ワールドクルールボンド\*1、ワクチン債\*2など、一般投資家が投資を通じて環境・社会的問題の改善に寄与・参画できる機会を提供します。

### ③ 社外へのCSR推進活動

金融業界を含め、あらゆるステークホルダーに向けて、UNEP FI、PRIやCDPなどの考え方を中心としたCSR推進の働きかけや提言を行なっています。

### ④ 企業市民活動

経済・金融のプロフェッショナルとして、次世代の育成に取り組み、「中期経営計画」でも経済・金融教育の推進を目標に掲げました。また、財団やNPO/NGO等を通じた地域社会・国際社会への助成活動により、本業である金融の仕組みを活かした長期的支援を今後も継続していきます。

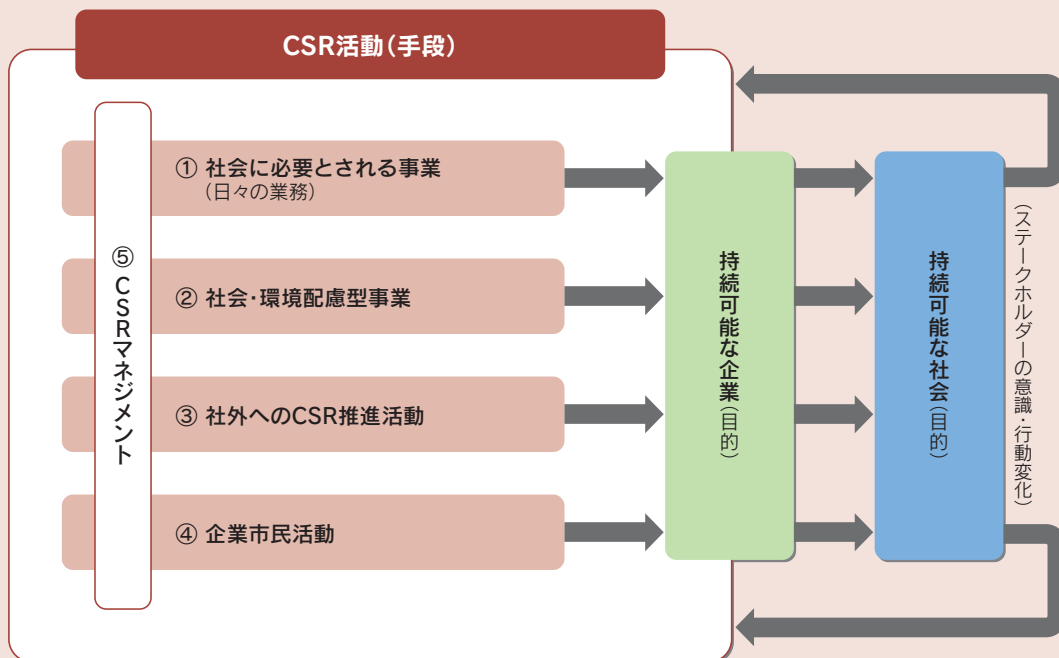
### ⑤ CSRマネジメント

自らの事業活動における社会的側面および環境面での配慮を進めます。コーポレート・ガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底、お客様満足、職場環境の向上を図るとともに、環境マネジメントシステムの構築と役職員の環境意識向上に努め、当社グループの大きな環境負荷である紙の削減を進めていきます。

\*1 ワールドクルールボンド: 詳しくはP.14をご参照ください。

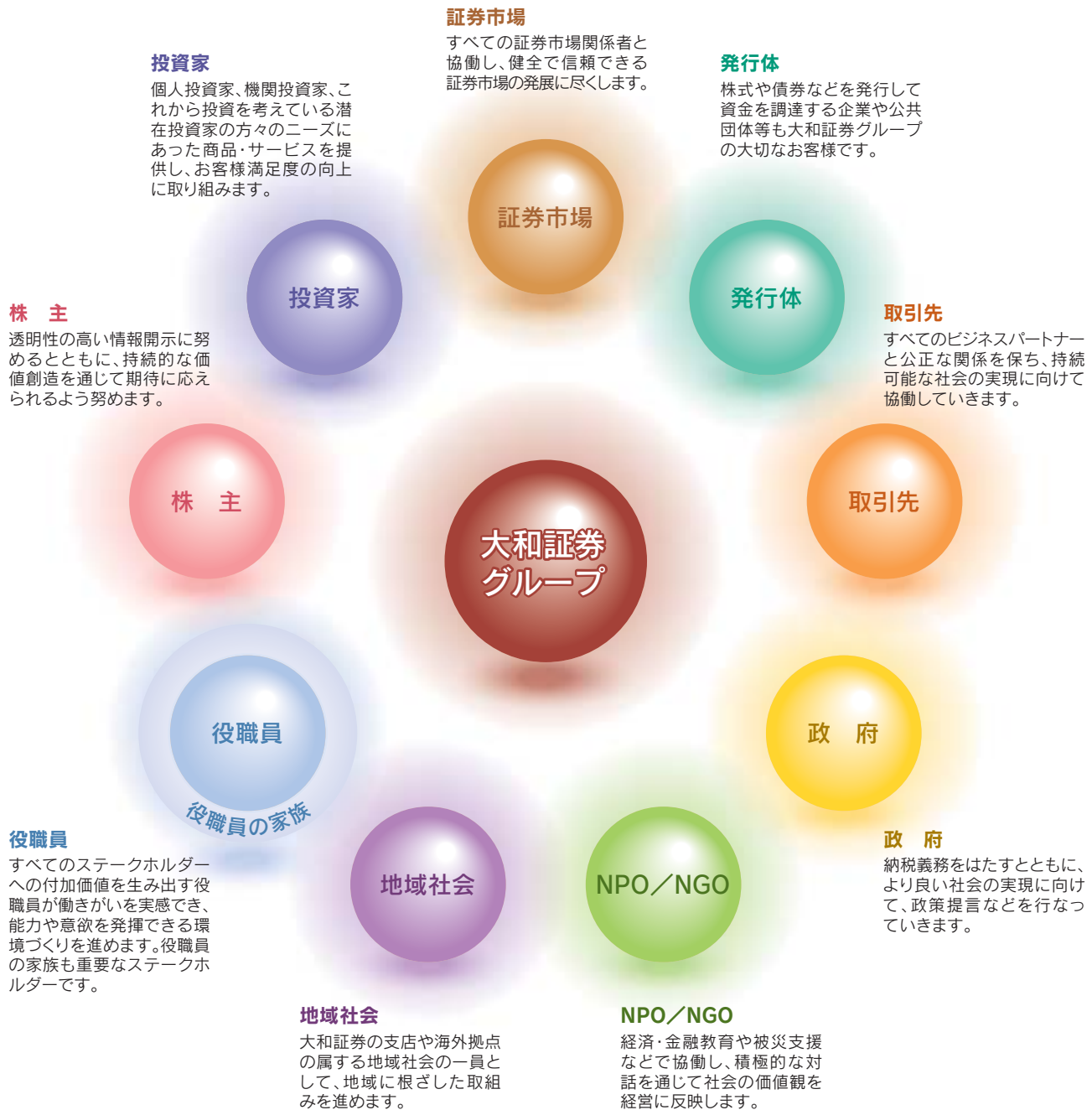
\*2 ワクチン債: 詳しくはP.12をご参照ください。

### 大和証券グループ 持続可能な社会実現のための5つのアプローチ



# 大和証券グループの 社会的責任と重要課題

## 大和証券グループのステークホルダー



## 大和証券グループの重要課題

大和証券グループは、ステークホルダーの意思決定に大きな影響を及ぼすと考えられる事項を、重要課題として特定しています。重要課題の特定にあたっては、これまでに寄せられたステークホルダーの声、具体的には役職員アンケート、お客様満足度調査、株主アンケート、外部有識者の意見、国内外のNPO等の各種団体からの要請などをもとに考慮すべき事項を整理し、主に右記のポイントにもとづき課題の重要性を検討しました。

### 重要課題特定のポイント

- 社会への影響、ステークホルダーの意思決定への影響が大きい事項
- 大和証券グループの多くの役職員がビジネスを通して取り組む事項
- 金融機関のサステナビリティへの貢献として社会から求められる事項
- 企業市民としての責任をはたし、役職員の「働きがい」につながる事項

### 重要課題① 投資に社会的視点を

大和証券グループの主要業務である証券ビジネスを通して持続可能な社会の構築に貢献するため、「投資に社会的視点を組み込む」ことを実行します。SRI投資信託や、社会的意義のある活動を支援する金融商品の開発・販売、環境技術や社会的価値を有する企業の資金調達、CSRにかかわる投資情報の提供、排出権関連ビジネスなどを通じて、社会的課題の解決、また持続可能な社会の実現に向けたお金の流れを促します。

### 重要課題② 健全な証券市場の発展に向けた取り組み

証券ビジネスに携わる企業として、健全で信頼できる証券市場を維持・発展させるという責務をはたします。そのために、法令遵守にとどまらず、お客様や社会の信頼に応えるコンプライアンスの確立、高い倫理観の保持、不正取引・反社会的勢力の排除を徹底します。

### 重要課題③ 地球環境への取り組み

IT化の推進に伴う業務の効率化、紙使用量の削減などにより、自らの事業による環境負荷を極力低減します。さらに、生物多様性の保全を含む地球環境問題の解決に向けた協力・働きかけを行なっています。

### 重要課題④ 持続可能な社会に向けた情報発信

証券ビジネスで培った知識やノウハウを社会に還元する金融・経済教育、産学連携による研究・開発や、サステナビリティについての最新の情報提供など、情報を取り扱う企業の特性を活かした活動を継続します。

また、大和証券グループの経営の基本方針として、役職員が「働きがい」を感じて十分な力を発揮できるような取り組みを重視しています。当事項につきましては「トップメッセージ」(P.5-6)と「人の尊重と人材の活用」(P.37-42)等をご参照ください。